

# 「夢のつづきを大東四條畷で」

大東四條畷消防本部総務課 消防士長 坪井 一展（平成22年入職）

## オレンジに憧れて



幼い頃から漠然と消防士に憧れていた私は、中学生の頃、偶然見たテレビ番組でオレンジを身にまとった消防士の姿に目を奪われました。細いロープ1本で壁を駆け上がり、重いボンベを背負ってすごいスピードで走る消防士たちが、少年時代の私にはとても輝いて見えました。その消防士達が救助隊である事を知ったその日、私の夢が決まりました。夢を抱いたまま大人になり、実際に採用試験に挑戦することになった時、「生まれ育った場所を守りたい!」という思いから、当時の大東市消防本部を受験しました。

## 恵まれた職場環境

消防士となって以降、様々な隊でたくさんの上司、先輩と出会いました。私が悩んだり、落ち込んだりしたとき、そこにはいつも励まし、勇気付けて下さる上司、先輩の姿がありました。200人規模の小規模消防である当本部は職員が皆顔見知りで、プライベートでの交流もたくさんあります。そんな中でいつも誰かが見て下さっている事、こんなにありがたいことはありません。

入職から8年目の現在、私は総務課に配属され勤務しています。総務課とは、言わば「縁の下での力持ち」。職員の給与や人事、勤務に欠かせない物品の購入等を幅広く担当しています。現場に出場することはなく、消防の仕事としては目立たない部署かもしれませんが、当直勤務に従事している現場職員が、安心して勤務できるようにそっと影からサポートしているそんな部署です。総務課員になってまだ日は短いですが、上司や先輩が私にしてくださったように、次は私が現場職員の皆さんを影ながら支えていきたいと思っています。



## ゼロからでも大丈夫

私は消防に入る前、特に目立った能力や資格はなく、頭がいいわけでもない、どこにでもいるごくごく普通の学生でした。そんな私も今では自分をプロの消防士だと自負しています。それはこの職場にいるプロの消防士達に育ててもらったからです。特別なものは必要ありません。大切なのは、「消防士になりたい」というあなたの真っ直ぐな想いだけ。あとは全てこの職場で教えてもらえます。採用試験では、そんなあなたの気持ちをぶつけてください。消防に対する熱い想いと姿勢はきっと伝わるはずです。そして何より、夢ある受験生の皆さん、実は私もまだまだ夢の途中です。大東四條畷消防組合と一緒に夢を追いかけましょう！